



2018年1月11日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL <https://www.astellas.com/ja>)
東証 (第一部)
決算期 3月
問い合わせ先 広報部長 臼井 政明
Tel: (03)3244-3201

選択的 SGLT2 阻害剤イプラグリフロジン L-プロリン 日本での 1 型糖尿病の効能・効果追加申請

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:畑中 好彦、以下「アステラス製薬」)は、寿製薬株式会社と共同で開発を進めている選択的 SGLT2 阻害剤イプラグリフロジン L-プロリン(一般名、製品名:スーグラ[®]錠、開発コード:ASP1941、以下「イプラグリフロジン」)に関し、本日、アステラス製薬が日本において 1 型糖尿病に関する効能・効果追加の承認申請を行いましたので、お知らせします。

1 型糖尿病は、膵臓のインスリンを分泌する β 細胞が主に自己免疫により壊され、インスリンの欠乏が生じることにより発症する疾患です。日本国内で糖尿病が強く疑われる人は約 1,000 万人と推定されています*1。また、糖尿病患者のうち 1 型糖尿病患者は約 6%を占めると言われています*2。

イプラグリフロジンは、アステラス製薬と寿製薬との共同研究において見出され、共同開発を行っている選択的 SGLT2 (Sodium-Glucose Co-transporter 2)阻害剤です。SGLT は細胞表面に存在する膜タンパクで、ブドウ糖の細胞内への輸送をつかさどっています。SGLT2 は SGLT のサブタイプの一つであり、腎臓近位尿細管でのブドウ糖再取り込みにおいて重要な役割を担っています。イプラグリフロジンは SGLT2 を選択的に阻害することでブドウ糖の再取り込みを抑制し、血糖値を下げる薬剤です。

イプラグリフロジンは、2014 年 1 月に 2 型糖尿病を効能・効果としてスーグラ[®]錠の製品名で製造販売承認を取得し、2014 年 4 月より販売しています。

アステラス製薬は今回の申請により、血糖コントロールが不十分な 1 型糖尿病患者さんに新たな治療選択肢を提供し、糖尿病治療に一層貢献できることを期待しています。

なお、今回の申請に伴うアステラス製薬の当期(2018年3月期)連結業績予想への影響はありません。

以上

*1:厚生労働省平成28年国民健康・栄養調査結果の概要

*2:糖尿病データベース構築委員会2015

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。